慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	日吉メディアセンター所蔵の西洋初期刊本 : HRP 2008貴重書展解題再録
Sub Title	Western early printed books in the Hiyoshi Media Center : a revised catalogue of the rare book exhibition at HRP 2008
Author	徳永, 聡子(Tokunaga, Satoko)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2009
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 英語英米文学 (The Hiyoshi review of English studies). No.54 (2009.) ,p.59- 80
JaLC DOI	
Abstract	The Hiyoshi Media Center of the Keio University Library holds a collection of both Western and Japanese early books. Although the size of this collection may not be large, it contains historically significant copies. However, there has been no systematic catalogue nor active use of this collection. The present writer has therefore organized an exhibition of the rare books housed in the Hiyoshi Media Center on the occasion of the Hiyoshi Research Portfolio (HRP), an annual event for introducing research activities at Hiyoshi campus to the public. This paper is a reprint (with some revisions) of the catalogue prepared for the exhibition held at HRP 008. In total sixteen editions of Western old books were selected for the display, ranging from 16 th-century Continental books to 1 7th-century English books, including Jean de Coras's Arrest memorable, dv Parlement de Tolose (Lyon, 1561), Louis Maimbourg's Histoire de Calvinisme par Monsieur Maimbourg (Paris, 1682), William Camden's Annales (London, 1625) and Comedies and Tragedies Written by Francis Beavmont and John Fletcher Gentlemen (London, 1647).
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030060-20090331-0059

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese

Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日吉メディアセンター所蔵の西洋初期刊本
—— HRP 2008 貴重書展解題再録 ——

徳　永　聡　子

慶應義塾大学日吉キャンパスでは、キャンパス内で展開されている研究活動を広く塾内外に広めることを目的とした報告会、Hiyoshi Research Portfolio（以下 HRP）を毎年秋に開催している。第四回を迎えた 2008 年度は 11 月 14 日（金）・15 日（土）の二日間にわたり開催された。本稿はこの HRP の一環として筆者が行った貴重書展示会の解題目録の再録である。

慶應義塾大学では、いわゆる貴重書と称される歴史的資料は、一般的には三田メディアセンターや旧図書館内に保管されているのだが、実は日吉メディアセンターにも貴重書室というスペースが 4 階にある。おそらくこの部屋の存在は大学教員の間でもあまり知られてはいないのではないだろうか。かく云う筆者も今回の企画展を機に初めて足を踏み入れた。果たしてこの未開の地にどのような書物が保管されているのか——日吉メディアセンターの理解を得て書庫を見て回ったところ、予想以上に研究・教育的資料として有益なものが多くあることがわかった。そこで HRP 2008 という機会を捉えて、その中身を少しでも多くの人に紹介すべく日吉メディアセンターが所蔵する 16、17 世紀の刊本の洋書貴重書展示会を開催するに至った。展示したのは全 14 冊 16 版（合冊本 2 点を含むため）であるが、これは日吉貴重書コレクション全体のほんの一部に過ぎない。

本展示を通して何よりも印象的だったのが、書物と会話する学生たちの

生き生きとした姿である。専門課程前の一、二年生が所属する日吉キャンパスでは、普段こうした貴重書に触れる機会は学部生にはほとんどない。率直なところ、展示開催前には学生からどれだけ反応があるのか不安も感じていた。だが会場で学生たちを見ていると、書物が受け継いできた知の遺産を、実際に古書を目にしたり触れたりすることでより身近に感じ、少なからぬ興奮を覚えていたように思われる。昨今、若者の活字離れや学習における身体性の欠如の危惧が叫ばれているが、日吉にあるこうした歴史的遺産をもっと活用し、学生たちが日頃から触れる機会を増やしていくことは、教育的側面からしても意義があるのではないだろうかと感じている。

以下に続くのは、展示当日に用意した目録に若干の改稿を加えたものである。ここに掲載した書物はすべて日吉メディアセンターに所蔵されているもので、写真は同センターの許可を得て、筆者自身が撮影したものである。日吉メディアセンター関係者のご理解とご協力に厚く御礼申し上げたい[1)]。

展示会場の様子

展示目録（改訂版）

展示名：HRP 2008 西洋初期印刷本の世界
——日吉メディアセンター所蔵貴重書展——
展示期間：2008 年 11 月 14 日（金）～ 11 月 15 日（土）
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 2 階 B 会場
協力：慶應義塾大学日吉メディアセンター、三田メディアセンター、日吉研究支援センター

〈はじめに〉

15 世紀中頃に活版印刷術が発明されると、ヨーロッパでは 19 世紀初頭まで手引き印刷機によって書物が印刷されました。慶應義塾図書館は、この手引き印刷時代に出版された貴重な書物を多く所蔵しています。本展示では、このたび日吉メディアセンターで所在を確認した西洋初期印刷本から 14 点を選び、3 つのセクションに分けて紹介しています。

展示ケース 1「16・17 世紀の大陸本」では、16 ～ 17 世紀に、リヨン、パリ、ローマ、バーゼルといった、初期印刷文化の発展を担った大陸の都市で出版された 5 点をまとめています。書物の内容は、民衆文化、宗教改革、大航海時代、古典文学作品と多岐にわたり、いずれも当時の社会状況や・文化的発展を知るのに貴重な資料です。

展示ケース 2「アーサー王からミルトンまで」では、中世英文学を扱った作品、エリザベス女王時代のイギリスの歴史を詳細に記述した年代記、17 世紀英文学を代表するミルトンの作品など、17 世紀のイギリスで刊行された書物 4 点を展示しています。

同様に、展示ケース 3「シェイクスピアとその周辺」もイギリス文学作品を扱っていますが、そのテーマはシェイクスピアを中心としたエリザベス朝時代の戯曲と、この時代の演劇に関する論評です。

展示品のほとんどは、おそらくこれまで一般には公開されたことのない

ものばかりですので、ぜひ書物との対話をじっくりとお楽しみください。本展示会を通して、西洋初期印刷本の世界の魅力を少しでも感じていただけましたら幸いに存じます。

なお本展示の開催に至るまで、実に多くの方々からご協力を賜りました。特に日吉メディアセンター、三田メディアセンター貴重書室、HRP2008事務局（日吉研究支援センター）には、本当にお世話になりました。なかでも日吉メディアセンターの長島敏樹氏には、構想から展示の準備に至るまで、さまざまにご尽力いただきました。また展示に必要な小道具の多くは三田メディアセンター貴重書室の筒井利子氏のご好意により、同貴重書室から借用しています。この場をお借りして、ご協力くださいました皆さまに厚く御礼申し上げます。

＊＊＊

〈展示ケース 1：16・17 世紀の大陸本〉

1-1. ジャン・ド・コラ『忘れ難き判決』（リヨン、1561 年）
［KV0@326.9@Co1@1］

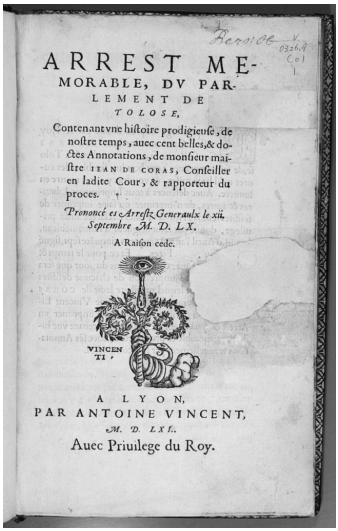
Jean de Coras. Arrest memorable, dv Parlement de Tolose, Contenant vne histoire prodigieuse, de nostre temps, auec cent belles, & doctes Annotations, de monsieur maistre Iean de Coras, Conseiller en ladite Cour, & rapporteur du process. Lyon: Antoine Vincent, 1561. Avec Privilege du Roy.

Quarto: a^4 (-a1), b-q^4. Marginalia annotations on sig. m3v, o2r, p3v.

フランスのランドック地方に住む裕福な農民マルタン・ゲールは、ある日幼き妻ペルトランドと二人のあいだの赤ん坊を残して、突然に消えうせた。その理由は誰にも知らされていない。だが失踪から数年後、ペルトランドのもとにマルタンが戻って来た。そしてふたたび幸せな一家の生活が始まったように見えた。しかし数年後、（新）マルタンが相続した財産を

めぐり騒動がおこる。親戚が彼はペテン師であると騒ぎ出したのである。さらには妻までもが、この男は自分の夫ではないと訴え出た。

この訴訟はリューでの裁判を経たのち、今度はトゥールーズ高等法院に持ち込まれた。自分こそがマルタンであるという、（新）マルタンの証言が有利に動いていた時、驚くべきことに、本物のマルタン・ゲールが法廷に登場する。二人のマルタンの審議の結果、マルタンを装っていた男は、実際にはアルノ・デュ・ルイという詐欺師であったことが判明し、事件は解決を迎えた。


ARREST ME-
MORABLE, DV PAR-
LEMENT DE
TOLOSE,
Contenant vne hiſtoire prodigieuſe, de noſtre temps, auec cent belles, & doctes Annotations, de monſieur maiſtre IEAN DE CORAS, Conſeiller en ladite Cour, & rapporteur du proces.
Prononcé es Arreſtz Generaulx le xii. Septembre M. D. LX.
A Raiſon cede.
VINCEN TI.
A LYON,
PAR ANTOINE VINCENT,
M. D. LXI.
Auec Priuilege du Roy.

1-1. タイトルページ

この裁判が終わると、ただちに2冊の書物が出版された。本書はこのニセ亭主騒動裁判を担当した判事、ジャン・ド・コラみずからが裁判について記したものである。法律文書の形式をとりながらも、本書は単なる法律書にはとどまらない。裁判の判決にコラ自身の手による注釈が施されているが、この注釈にはコラの見解が垣間見られ、この事件の裁判記録がまるで教訓談、悲喜劇としても読める歴史物語かのような演出を与えている。

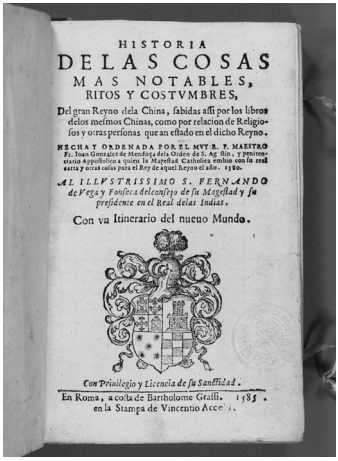
【参考文献】

ナタリー・Z. デーヴィス『マルタン・ゲールの帰還―― 16世紀フランスの偽亭主事件』成瀬駒男訳（東京：平凡社、1985年）

1-2. ゴンザレス・デ・メンドーサ『シナ大王国誌』（ローマ、1585 年）［KV0@292.2@Go1@1］

Juan Gonzalez de Mendoza. Historia de las cosas mas notables, ritos y costvmbres, del gran Reyno dela China. . . . Roma: Bartholome Graffi, 1585.

Octavo: [pai]^{8}, A-2D^{8}, 2E^{4}.


HISTORIA
DELAS COSAS
MAS NOTABLES,
RITOS Y COSTVMBRES,
Del gran Reyno dela China, sabidas assi por los libros delos mesmos Chinas, como por relacion de Religiosos y otras personas que an estado en el dicho Reyno.
HECHA Y ORDENADA POR EL MVY R. P. MAESTRO Fr. Ioan Gonçalez de Mendoça dela Orden de S. Ag.tin, y penitenciario Apostolico a quien la Magestad Catholica embio con la real armada y otras cosas para el Rey de aquel Reyno el año. 1580.
AL ILLVSTRISSIMO S. FERNANDO de Vega y Fonseca del consejo de su Magestad y su presidente en el Real delas Indias.
Con vn Itinerario del nueuo Mundo.
Con Priuilegio y Licencia de su Santidad.
En Roma, a costa de Bartholome Graffi. 1585.
en la Stampa de Vincentio Acc[illegible].

1-2. タイトルページ

スペインのアウグスティヌス会宣教師ゴンザレス・デ・メンドーサ（1545-1618）は、時の国王フィリペ二世に中国への使節派遣を願い出た。派遣の決定を国王から取り付けると、国王の中国王宛ての書簡や贈物を携え、1581 年に使節の一員としてメキシコへ渡った。しかしながら、メキシコ当局の反対にあい、この計画を断念せざるを得なくなる。メキシコで中国に関する記録や資料を集めたのち、1582 年に帰国すると、メンドーサはそれらの資料を駆使して中国総論を著し、1585 年にローマで出版した。本書はそのメンドーサの大著『シナ大王国誌』の初版本である。

本書は大きく分けて 2 部から構成されている。第 1 部は、中国の地理、宗教、政治や社会、民族についてまとめた内容である。メンドーサ自身、中国の地を踏むことはなかったこともあり、その記述には不正確な部分や混乱をきたした箇所もみられる。だが全体としては当時の記録や資料を正確に扱っており、中国についてこれほどの詳細がまったものは、この著作以前にはなかったとさえ言われる。一方、第 2 部は 1575 年から 1582 年頃に中国に渡った修道士たちによる中国紀行文をまとめている。

慶應本は、同時代の製本に包まれ、背表紙には手書きで本書のタイトル

が書かれている。

【参考文献】

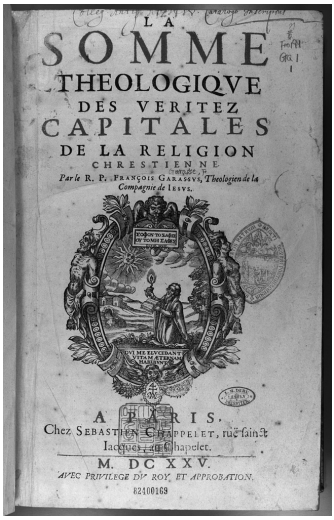
ゴンサーレス・デ・メンドーサ『シナ大王国誌』長南実訳・矢沢利彦訳註、大航海時代叢書 6（東京 : 岩波書店、1965 年）

1-3. フランソワ・ガラス『キリスト教主要真理の神学大全』（パリ、1626 年）［KFO@191@Ga1@1］

François Garasse. La somme theologique des veritez capitales de la religion chrestienne. Parle R. P. François Garassus, Theologien de la Compagnie de Iesvs. Paris: Chez Sebastien Chappelet, 1626.

Folio: A-2B^{6}, 2C^{8}, 2D-4R^{6}.

本書は、フランスのイエズス会士であり、論争神学者として知られるフランソワ・ガラス（1585-1631）の著作である。ガラスは、イエズス会に反対する者やフランス改革派教会を説教や著作において痛烈に批判した。特に本書の内容の過激さゆえに、ガラスはソルボンヌ大学神学部から断罪された。その結果、ポアティエでの隠遁生活を余儀なくされ、ペスト患者の看病中に感染して同地で最期を迎えた。


LA
SOMME
THEOLOGIQVE
DES VERITEZ
CAPITALES
DE LA RELIGION
CHRESTIENNE
Par le R. P. FRANÇOIS GARASSVS, Theologien de la Compagnie de IESVS.
A PARIS.
Chez SEBASTIEN CHAPPELET, rue saint Iacques, au Chapelet.
M. DC XXV.
AVEC PRIVILEGE DV ROY, ET APPROBATION.
1-3. タイトルページ

『キリスト教主要真理の神学大全』の初版は 1625 年に出版されたが、展示本はその翌年の 1626 年に出版された版である。タイトルページは赤と黒インクの 2 色刷りで美しく、慶應本はきわめて保存状態がよい。

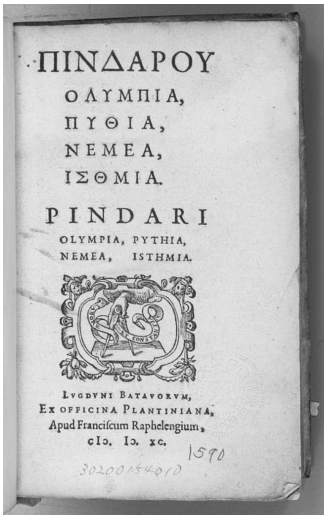
1-4. ピンダロス『祝捷歌集』（ライデン、1590 年）；ヨハン・ヴァレニウス『ギリシア語文法』（バーゼル、1561 年）［KV0@991@Pi1@1］

(1) ΠΙΝΔΑΡΟΥ. ΟΛΥΜΠΙΑ, ΠΥΘΙΑ, NEMEA, ΙΣΘΜΙΑ / Pindari. Olympia, Pythia, Nemea, Isthmia. Lvgdvni Batavorum: Ex Officina Platiniana, apud Franciscum Raphelengium, 1590.

Octavo: [†]^{8}, A-P^{8}, Q^{4}.

(2) Joannes Varennius. Syntaixs Lingvae Grecae, Ioanne Varennio Mechliniensi autore. Praetera Annotatiunculae paucae ad praecepta Syntaxis Varennianae, per Ioachimum Camerarium. Basel: Officina Ioannis Oporini, M.D.L.I. [1551].

Octavo: a-m^{8}, n^{4}. Marginal annotations on sig. a7r, f2r.


ΠΙΝΔΑΡΟΥ
ΟΛΥΜΠΙΑ,
ΠΥΘΙΑ,
NEMEA,
ΙΣΘΜΙΑ.
PINDARI
OLYMPIA, PYTHIA,
NEMEA, ISTHMIA.
LVGDVNI BATAVORVM,
EX OFFICINA PLANTINIANA,
Apud Franciscum Raphelengium,
CIↃ. IↃ. XC.
1590

1-4（1）タイトルページ

本書は、古代ギリシア最大の合唱隊歌詩人ピンダロス（BC c. 522/518-BC c. 442/438）の著作と、ギリシャ語文法の教科書の 2 点が一緒に綴じ合わされた合冊本である。16 世紀頃の装丁をとどめていることから、16 世紀末あるいは 17 世紀はじめに、この 2 つの印刷本は一冊の書物として綴じられたと考えられる。このように 2 冊以上の書物（特に内容的に関連性があり、出版地・年の近いもの）を併せ収めた合冊本は、印刷文化の初期段階から制作されている。

ピンダロスの詩歌集はジャンル別に編集されたといわれる。なかでもオリュンピア、ピュティア、ネメア、イストミアの四大競技別に編集された『祝捷歌集』4 巻は、写本や印刷本によって伝播し、後世までよく読まれた。展示本は 16 世紀中葉にライデンで

刊行された版である。

もう 1 冊の書物は、ドイツのテュービンゲン大学で教鞭を執っていたヨハネス・ヴァレニウス（c. 1462?-1557）が著したギリシャ語文法書である。当初は彼の学生に向けて書かれた教科書であったが、初版が 1532 年に出版されると、同年にヴェネチアで、また 1536 年にはバーゼルでも刊行されるほか、各地で再版を重ねた。本書は 1551 年にバーゼルで刊行された版で、テュービンゲン大学の古典学者であり、ルター派の神学者として知られるカメリウス・ヨアヒム（1500-74）が注釈を施している。

これら 2 点の内容から、慶應本は古典の学習者が所有していたと推察される。また本文には出版時より少しあとの時代と思われる筆跡で書き込みや本文の訂正が数箇所になされている。

【参考文献】

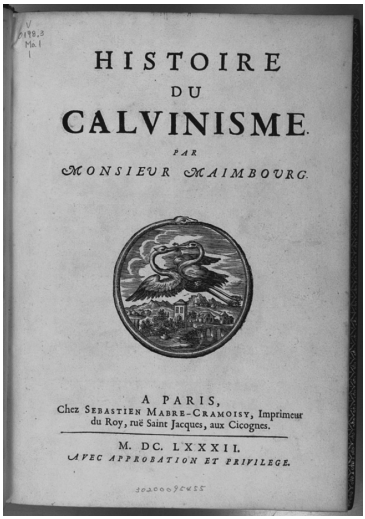
The Works of Peter Pindar, 3 vols（London: J. Walker, 1794）
久保正彰訳『世界名詩集大成 1 オリュムピア祝捷歌集』（東京 : 平凡社、1992 年）
Frank Hieronymus, *Griechischer Geist aus Basler Pressen* <http://www.ub.unibas.ch/kadmos/gg/hi/higg0051.htm> [accessed 5 November 2008]

1-5. ルイ・マンブール『カルヴァン派史』（パリ、1682 年）［KV@0198.3@Ma1@1］

Louis Maimbourg. Histoire de Calvinisme par Monsieur Maimbourg. Paris: Chez Sebastien Mabre-Cramoisy, 1682.

Small folio: [24] A-3V^4 3X^2 (-3X2).

フランス国王アンリ 4 世は、新教徒ユグノーなどに対して、カトリック教徒と同じように信仰の自由を認めるナントの勅令を発布した。だがルイ 14 世が即位すると、次第にプロテスタントへの圧迫や迫害が強まり、それと同時に新旧両教会の宗教論争も激化していった。1685 年、ルイ 14 世



1-5. タイトルページ

はついにナントの勅令を廃止した。

勅令廃止の直前の緊張が高まるなか、もっとも注目をあびたのがカルヴァン派の歴史をめぐる論争であった。本書は、この問題を真っ向から取り上げ、ナントの勅令廃止の決定に多大なる影響を与えたともいわれる著作である。序文で著者が「本書に見られるものはカルヴィニスムという、フランスがこれまで抱えたあらゆる敵の内でも最も猛り狂った、最も凄まじい敵」（野沢協訳、p. 1509）と言明するように、カルヴァン派に対し徹底した批判をあびせている。

邦訳の解説によると、1682 年に刊行された版には 3 つあり、慶應本はその中の初版と思われる。

【参考文献】

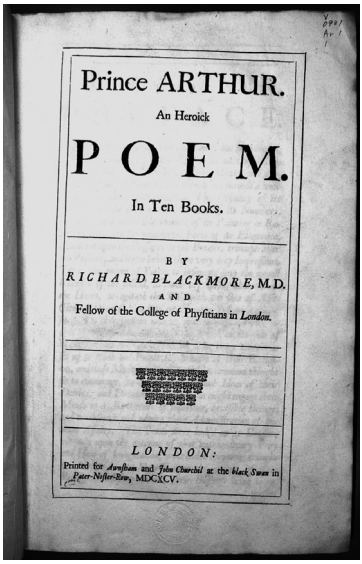
『ピエール・ベール著作集　補巻：宗教改革史論』野沢協訳（東京：法政大学出版局、2004 年）

〈展示ケース 2：アーサー王からミルトンまで〉

2-1. リチャード・ブラックモア『アーサー王 : 英雄詩』（ロンドン、［1695 年］）［KV0@931@Ar1@1］

Richard Blackmore. Prince Arthur: An Heroick Poem. In Ten Books. London: Printed for Awnsham and John Churchil at the Black Swan in Pater-Noster-Row, MDCXCV[1695].

Folio: [pai]^{2}, A^{8}, B-Z^{4}, 2A-2P^{4}. Wing B3080.


Prince ARTHUR.
An Heroick
POEM.
In Ten Books.
BY
RICHARD BLACKMORE, M.D.
AND
Fellow of the College of Phyſitians in London.
LONDON:
Printed for Awſham and John Churchil at the black Swan in Pater-Noſter-Row, MDC.XCV.

2-1. タイトルページ

新しい時代へと移行する時、芸術や文学作品が必ずしも次の世代に受け継がれるとは限らない。たとえば中世イギリス文学作品の場合、ヘンリー八世による宗教改革の影響を受けて、その多くは 16 世紀半ば以降印刷されなくなった。だがアーサー王伝説は、こうした「ボトルネック現象」をくぐりぬけ、時代を越え語り継がれ、常に読者を獲得してきた。

本書は、医師として 17 世紀末から 18 世紀初頭に活躍したリチャード・ブラックモア（1654-1729）が著わしたアーサー王文学作品である。連続する二行連句が押韻する弱強五歩格の対句が随所に散りばめられ、押韻の箇所は視覚的にもよくわかるよう行末が括弧でくくられている。内容は、ウェルギリウスやジェフリー・オヴ・モンマスに倣ったものであるが、著者の同時代の政治的アレゴリーを読み取ることもできる。

慶應本の表紙見返しには Philip Webber の蔵書票が貼付されている。

【参考文献】

Gregori, Flavio, ‘Blackmore, Sir Richard (1654-1729)’, in *Oxford Dictionary of National Biography* <http://www.oxforddnb.com/view/article/2528> [accessed 1 Nov. 2008]

2-2. ウィリアム・カムデン『エリザベス女王の年代記』（ロンドン、1625 年）［KV@0233.05@Ca1.1］

William Camden. Annales: The True and Royal History of the Famous Empresse Elizabeth Queene of England France and Ireland. . . . London: Printed for B. Fisher, 1625.

Quarto: [pi]^2, a-b^4, [par.]^4, [chi]^4, ^{2}[par.]^4, (*)^4, A^4, (a)-(c)^4, (d)^2, ^{2}(*)^4, B-3K^4, [B]-[2G]^4, 4A-4E^4, 4F^2. STC 4497. Contemporary notes on the front free-endpaper.

2-2. エリザベス一世の肖像画

歴史家・紋章家ウィリアム・カムデン（1551-1623）は、『ブリタニア』（1586）の著者として有名であるが、エリザベス一世とその宮廷について記した『年代記』も、彼の重要な著作である。ラテン語で執筆・出版したものからフランス語訳版が出版され、そのフランス語版から英語に訳された。本展示書は 1625 年出版の英訳版で、ラテン語版の第一部（1615 年出版）にあたる部分を訳出したものである。

自伝のなかでカムデンは、この歴史書の完成までには、およそ 7 年の歳月を要したと述べている。また必要な資料は偉大なる蔵書家ロバート・コットンの協力を得て、彼の膨大な蔵書コレクションから入手した。現在それらの資料はロンドンの大英図書館にある。

慶應本は英文学者 John Sparrow の旧蔵書で、表紙見返しに彼の蔵書票が貼ってある。

【参考文献】

Wyman H. Herendeen, ‘Camden, William (1551–1623)’, in *Oxford Dictionary of National Biography* <http://www.oxforddnb.com/view/article/4431> [accessed 1 Nov. 2008]

2-3.『チョーサー全集』トマス・スペイト編（ロンドン、1687 年）［KV0@931@Ch1@1］

The Works of our Ancient, Learned Chaucer. . . To which Is Adjoyn’d The Story of the Siege of Thebes by John Lidgate, etc. Ed. by Thomas Speght. London, [s.n.], 1687.

Folio: [pai]^{2}, A^{4}, a-d^{4}, B-3R^{4}, 3S^{2}. Wing C3736.

本書は、中世イギリス文学を代表する詩人チョーサーの著作を集めた作品集である。初期印刷本文化の揺籃期においては、チョーサーの主要な作品はタイトルごとに出版されていた。だが、ウィリアム・スィンが、チョーサーの作品を網羅的に集めた全集を 1532 年に出版すると、以後チョーサー作品の出版は「全集」という形態が主流となる。

2-3. チョーサーの肖像画

この 1687 年版はトマス・スペイト（fl. 1598）が編纂した『チョーサー全集』第 2 版（1602 年）の再版である。1602 年版と同様、本文に先立ち、チョーサーの伝記的解説が続く。本文には『カンタベリー物語』、『薔薇物語』、『トロイラスとクリセイデ』などの作品のほか、現在ではチョーサー作とはされない作品も収められている。

これらは 1602 年版を踏襲したものであるが、当時のチョーサー・キャノンを考える上で興味深い。

また巻末には 1602 年版と同様、スペイト版の特徴である古語のグロッサリーが付されている。

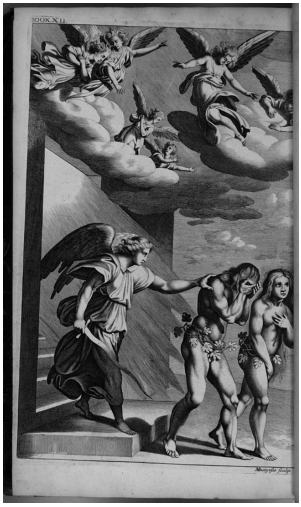
【参考文献】

Editing Chaucer: The Great Tradition, ed. by Paul G. Ruggiers (Norman, OK: Pilgrim, 1984)

2-4. ジョン・ミルトン『失楽園』第 4 版（ロンドン、1688 年）［KV0@931@Mi1@1］

John Milton. Paradise Lost. A Poem. In Twelve Books. . . The Fourth Edition, Adornd's with Sculptures. London: Printed by Miles Flesher for Richard Bently. . . and Jacob Tonson. . . . , M DC LXXXVIII [1688].

Folio: A^4, B^2, C-2X^4, 2Y-2Z^2, [2A^2]. Wing M2146.



2-4. 楽園追放の挿絵

17 世紀英文学を代表する詩人、ジョン・ミルトン（1608-74）の最高傑作ともいえる『失楽園』は、1667 年に初版が刊行されると、著者の手による改稿を加えながら再版を重ねた。展示書は 1688 年に出版された第 4 版で、この作品の最初の挿絵入り本である。挿絵は肖像画の版画制作などを活動の中心としていた Robert White（1645-1703）の手による。全部で 12 枚のフルページの挿絵がこの書物を飾っている。

慶應本には Joseph Knight の蔵書票とサインがある。

【参考文献】

‘Paradise Lost and Later Years’ <http:www.sc.edu/library/spcoll/britlit/Milton/miltonlater.html> [accessed 1 Nov 2008]

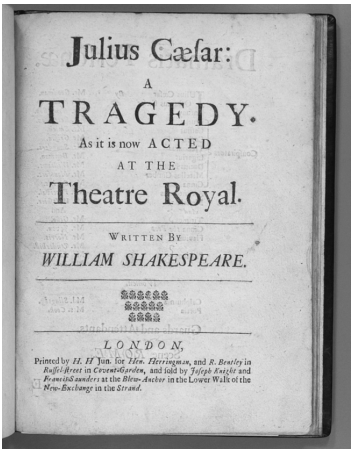
〈展示ケース３：シェイクスピアとその周辺〉

3-1. ウィリアム・シェイクスピア『ジュリアス・シーザー』（ロンドン、［1695?］年）［KV0@932@Sh1@2］

William Shakespeare. Julius Caesar: A Tragedy. As It is now Acted at the Theatre Royal. London: Printed by H. H[ills]. Jun. for Hen. Herringman, and R. Bentley in Russel-street in Covent-Garden, [1695?].

Quarto: A-H^4. Bartlett 115. Jaggard, p.319. Wing S2925.

プルタルコスの『英雄伝』に題材を得たこの劇が最初に上演されたのは、1599 年頃と推定されているが、この戯曲が最初に書物として登場するのは、現存する版のなかでは 1623 年刊行の第 1・二つ折本とされる。以後、しばらく空白の期間を経た後、1684 年に第 1・四つ折本が出版されると、10 年のあいだに四つ折本は続々と再版を重ねた。本書は第 5・4 つ折本で、現在のところ 1695 年頃の出版と推定されている。

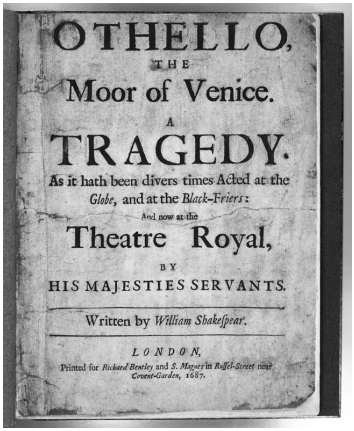

Julius Cæſar:
A
TRAGEDY.
As it is now ACTED
AT THE
Theatre Royal.
WRITTEN BY
WILLIAM SHAKESPEARE.
LONDON,
Printed by H. H Jun. for Hen. Herringman, and R. Bentley in Ruſſel-ſtreet in Covent-Garden, and ſold by Joſeph Knight and Francis Saunders at the Blue-Anchor in the Lower Walk of the New-Exchange in the Strand.

3-1. タイトルページ

3-2. ウィリアム・シェイクスピア『オセロー』（ロンドン、1687 年）［KV0@932.Sh1@1］

William Shakespeare. Othello. The Moor of Venice. A Tragedy. As it Hath Been Divers Times Acted at the Globe, and at the Black-Friers: And now at the Theatre Royal, by His Majesties Servants. London: Printed for Richard Bentley and S. Magnes in Russel-Street near Covent-Garden, 1687.

Quarto: A^2, B-K^4, L^2. Bartlett 107. Jaggard, p. 422. Wing S2941.


OTHELLO,
THE
Moor of Venice.
A
TRAGEDY.
As it hath been divers times Acted at the
Globe, and at the Black-Friers:
And now at the
Theatre Royal,
BY
HIS MAJESTIES SERVANTS.
Written by William Shakespear.
LONDON,
Printed for Richard Bentley and S. Magnes in Russel-Street near
Covent-Garden, 1687.

3-2. タイトルページ

ムーア人の武将オセローは、彼に憎しみを抱くイアーゴーの策略にかかり、自分の若く美しき妻デズデモーナの貞節に疑念を抱く。そして妻の絞殺という惨劇を引き起こす。しかし、すべてがイアーゴーの妖計によるものだと知り、オセローも自らの命を短剣で断つ。

シェイクスピアのこの有名な悲劇は、1603 年後半から 1604 年前半に執筆されたといわれているが、最初に印刷本で登場するのは、1622 年に刊行された第 1・四つ折本においてである。第 1・四つ折本と、続く第一・二つ折本（1623 年）に収録されている版のあいだには、本文上の著しい相違がみられるため、シェイクスピアの本文研究のなかでもっとも複雑なテクストのひとつとされている。

展示本は 1687 年に刊行された第 5・四つ折本である。残念ながら天の余白がかなり切り落とされているが、本文そのものには影響はない。

3-3. ボーモントとフレッチャー『悲喜劇集』（ロンドン、1647 年）［KV0@932@Be1@3］

Francis Beaumont and John Fletcher. Comedies and Tragedies Written by Francis Beavmont and John Fletcher Gentlemen. Never Printed before, and now Published by the Authours Originall Copies. . . . London: Printed for Humphrey Robinson, at the three Pidgeons, and for Humphrey Moseley at the Princes Armes in St Pauls Church-yard, 1647.

Folio: [52], 75, [1 blank], 143, [1 blank], 165, [2], [1 blank], 71, [1 blank], 172, 92, 50 [i.e. 52], 28, 25-48pp. Leaves D [pp. 19/20] and D3 [21/22] transposed by the binder. Bartlett 336. Gerg III, pp. 1013-1018. Pforzheimer 53. Wing B1581.

劇作家、ジョン・フレッチャー（1579-1625）とフランシス・ボーモント（c. 1585-1616）は、1607-8 年よりおよそ 5 年間にわたり、共同執筆活動を続け、『フィラスター』、『乙女の悲劇』など、悲喜劇の合作を生み出た。彼らの作品は、晩年のシェイクスピアにも多大な影響をおよぼしたともいわれる。

3-3. フレッチャーの肖像画

本書はフレッチャーとボーモントの合作による戯曲をはじめて集めた作品集である。34 点を含むが、二人の合作の正確な数は不明で、現在では 10 点は上回ることはないとも言われる。冒頭には、William Marshall によるフレッチャーの肖像画の版画が付されているが、慶應本のものは第二刷である。装丁は、20 世紀半ばに豪華な装丁を手掛けた Sangorski &

Sutcliffe によるもので、深紅色の革装には金のパネル模様が、また小口には金箔が見事なまでに施されている。

慶應本は 20 世紀の大収集家であり書店経営者であった William Foyle（1885–1963）の旧蔵書。

3-4. トマス・ライマー『古代ギリシア人の実践と万世にわたる良識に鑑みて考察された先代の悲劇』（ロンドン、1692 年）；トマス・ライマー『悲劇管見』（ロンドン、1693 年）［KV0@932@Ry1@1］

(1) Thomas Rymer. The Tragedies of the Last Age. Consider'd and Examin'd by the Practice of the Ancients. . . The Second Edition . . . . London: Printed and are to be sold by Richard Baldwin, 1692.
Octavo: A-K^{8}. Wing R2431.

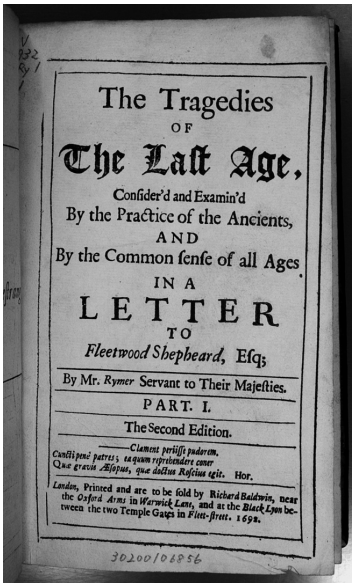
(2) Thomas Rymer. A Short View of Tragedy; It's Original, Excellency, and Corruption. With Some Reflections on Shakespear, and other Practicioners for the Stage. London: Printed and are to be sold by Richard Baldwin, 1693.
Octavo: A-M^{8}, N^{4}. Wing R2429.

本書は歴史家であり、劇作家、批評家としても活躍したトマス・ライマー（1642/3-1713）の演劇論 2 著作を収めた合冊本である。ライマーの代表的な著作には、王室資料編纂員として、イギリスの外交文書を収集編纂した大著『盟約』（1704-35 年）があげられる。また『エドガー、あるいはイギリスの君主』と題した押韻英雄悲劇も上梓したが、演劇に関しては、むしろ批評家としての業績の方が後世に与えた影響は大きい。

合冊本の第一作は、シェイクスピアやボーモントとフレッチャー、またベン・ジョンソンらの作品を取り上げ、いかにして悲劇があるべきかの持論を古典主義的見地から展開している。ライマーからこの著作を献呈された当初、ジョン・ドライデンは彼の論を絶賛する手紙を認めているが、晩年になるとその評価は揺れ動いた。なお初版は 1678 年で、1693 年の刊

記をもつ展示書は第2版である。なおライマーのDNBの執筆者は、この第2版の出版年を1692年としている。

続く『悲劇管見』は、シェイクスピアの『オセロー』を「血なまぐさい茶番劇」と酷評したことでよく知られる。特にクライマックスを迎える第3幕3場について、ライマーは、オセローがたった一枚のハンカチを証拠にデズデモーナの不貞を信じ込み、彼女を絞殺するまでに至るのはおかしいと糾弾した。きわめて古典主義的な見解であるが、T. S. エリオットにも見られるようにこの論に同調する声は20世紀に入っても聞かれたのである。


The Tragedies
OF
The Last Age,
Consider'd and Examin'd
By the Practice of the Ancients,
AND
By the Common sense of all Ages.
IN A
LETTER
TO
Fleetwood Shepheard, Esq;
By Mr. Rymer Servant to Their Majesties.
PART. I.
The Second Edition.
Clamant periisse pudorem.
Cuncti penè patres; ea quum reprehendere coner
Quæ gravis Æsopus, quæ doctus Roscius egit. Hor.
London, Printed and are to be sold by Richard Baldwin, near the Oxford Arms in Warwick Lane, and at the Black Lyon between the two Temple Gates in Fleet-street. 1692.

3-4（1）タイトルページ

【参考文献】

Sherbo, Arthur, 'Rymer, Thomas (1642/3–1713)', in *Oxford Dictionary of National Biography* <http://www.oxforddnb.com/view/article/24426> [accessed 1 Nov 2008]

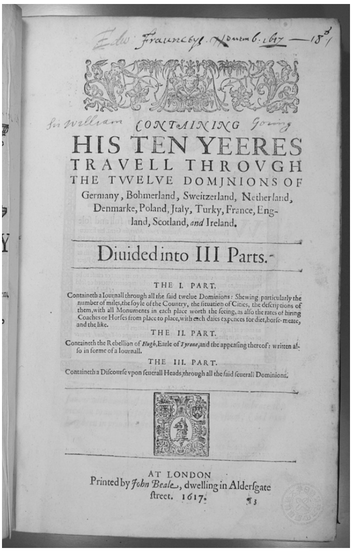
Rymer, Thomas, *A Short View of Tragedy*, introd. by John Valdimir Price（London: Routledge/ Thoemmes Press, 1994）

『古典的シェイクスピア論叢：ベン・ジョンソンからカーライルまで』川地美也子編訳（東京：みすず書房、1994年）

3-5. ファインズ・モリソン『旅行記』（ロンドン、1617 年）［KVO@290.9@Mo1@1］

Fynes Moryson. An Itinerary Written by Fynes Moryson Gen. First in the Latine Tongue, and then Translated by into English Containing his Ten Yeeres Travell throvgh the Twelve Domjnions of Germany, Bohmerland, Sweitzerland, Netherland, Denmark, Poland, Jtaly, Turky, France, England, Scotland, and Ireland. Diuided into III Parts. London: Printed by John Beale, dwelling in Aldersgate, 1617.

Folio. [chi]^{8}, A-4D^{6}, 4E^{8}. Both of the original blanks (the first and last leaves) have been preserved, but the binder has placed them both at the end, instead of one of them preceding the title. STC 18205.


CONTAINING
HIS TEN YEERES
TRAVELL THROVGH
THE TWELVE DOMJNIONS OF
Germany, Bohmerland, Sweitzerland, Netherland, Denmarke, Poland, Jtaly, Turky, France, England, Scotland, and Ireland.
Diuided into III Parts.
THE I. PART.
Containeth a Iournall through all the said twelue Dominions: Shewing particularly the number of miles, the soyle of the Country, the situation of Cities, the descriptions of them, with all Monuments in each place worth the seeing, as also the rates of hiring Coaches or Horses from place to place, with each daies expences for diet, horse-meate, and the like.
THE II. PART.
Containeth the Rebellion of Hugh, Earle of Tyrone, and the appeasing thereof: written also in forme of a Iournall.
THE III. PART.
Containeth a Discourse vpon seuerall Heads, through all the said seuerall Dominions.
AT LONDON
Printed by John Beale, dwelling in Aldersgate street. 1617.

3-5. タイトルページ

トマス・モリソンとその妻エリザベスの 3 番めの息子としてリンカーンシャに生まれたファインズ・モリソン（1565/6-1630）は、ケンブリッジ大学ピーターハウス・コレッジで修士号を取得すると、同コレッジのフェローとなり法律の研究職に就いた。しかし大学当局より国外視察の許可を得ると、1591 年、念願のヨーロッパ旅行へと出立した。

モリソンが 1591 年以降、およそ 10 年間のあいだで訪問した先は、ドイツ、ボヘミア、スイス、オランダ、デンマーク、ポーランド、イタリア、トルコ、フランスなどの国々である。これらの体験をもとに、ラテン語でヨーロッパ見聞録を執筆すると、今度はそれを自分で英訳した。本書は、その英訳

版を 1617 年に出版したものである。

この作品は 3 部構成で、第 1 部はヨーロッパと近東での旅行記、第 2 部はアイルランド史、そして第 3 部では旅行の意義や、各国の地理、国民性の相違などが論じられている。この第 3 部は 1617 年版では完成しておらず、オクスフォード大学コーパスクリスティ・コレッジ所蔵の写本に補遺がある。この補遺も含めた形で『シェイクスピアのヨーロッパ』（*Shakespeare's Europe*）として 20 世紀初頭に再版された。

慶應本は再製本されているが、出版当時の装丁の姿をとどめている。

【参考文献】

Edward H. Thompson, 'Moryson, Fynes (1565/6–1630)', in *Oxford Dictionary of National Biography*, Oxford University Press, 2004 <http://www.oxforddnb.com/view/article/19385> [accessed 1 Nov 2008]

道行千枝「『モリソン旅行記』：シェイクスピア時代のヨーロッパを巡る：訳・注　その（1）」『福岡女学院大学短期大学部紀要：一般教育・英語英文学』37 号（2001）33-56 頁

注

1）　展示会場には同僚や知人をはじめ多くの方にご来場いただいた。また解題作成時には慶應義塾大学英知明教授と不破有理教授からご助言などを、当日の準備や片付けでは諸井優美氏（慶應義塾大学文学研究科修士課程二年）と實谷総一郎氏（同大学文学部一年）にお手伝いいただいた。この場をお借りして心より感謝の意を表したい。

Synopsis

Western Early Printed Books in the Hiyoshi Media Center:

A Revised Catalogue of the Rare Book Exhibition at HRP 2008

Satoko Tokunaga

The Hiyoshi Media Center of the Keio University Library holds a collection of both Western and Japanese early books. Although the size of this collection may not be large, it contains historically significant copies. However, there has been no systematic catalogue nor active use of this collection. The present writer has therefore organized an exhibition of the rare books housed in the Hiyoshi Media Center on the occasion of the Hiyoshi Research Portfolio (HRP), an annual event for introducing research activities at Hiyoshi campus to the public. This paper is a reprint (with some revisions) of the catalogue prepared for the exhibition held at HRP 2008. In total sixteen editions of Western old books were selected for the display, ranging from 16th-century Continental books to 17th-century English books, including Jean de Coras's *Arrest memorable, dv Parlement de Tolose* (Lyon, 1561), Louis Maimbourg's *Histoire de Calvinisme par Monsieur Maimbourg* (Paris, 1682), William Camden's *Annales* (London, 1625) and *Comedies and Tragedies Written by Francis Beavmont and John Fletcher Gentlemen* (London, 1647).